

第73回茂原市文化祭展示概要のお知らせ

本納文化財顕彰会

- 1 期 日 令和6年11月2日(土)～11月4日(月)
9時～17時 (ただし、11月4日は16時まで)
- 2 会 場 本納公民館(ほのおか館)
- 3 テーマ 上総の新門徒(法華切支丹)と日進
- 4 概 要 江戸時代の本地域には、上総の新門徒、法華切支丹、内証題目などと呼ばれ幕府から弾圧された内信団体がありました。荻生徂来が著した『政談』には、「人死すれば、檀那寺の引導したる跡にて、火を打清めて、引導をかの俗上人仕なおす」と記されています。表向きには日蓮宗妙満寺派の檀那寺を持ちながら、その僧とは別に、不受不施義(法華経信者以外の者から布施を受けず、法華経信者以外の者へ布施を行わないという法義)を持つ俗上人を深く信仰していました。そのためキリシタンと同様に弾圧された俗上人である日進は、元文4年(1739)に三宅島に流罪とされました。長国(現大網白里市長国)に生まれた日進が三宅島で認めた書簡や曼荼羅などの貴重な史料が茂原市吉井上の民家に現存しています。今回は、この学術的に貴重な実物史料と関係する写真パネルを展示します。

5 主な展示品

- 日経、日尚、日進らの曼陀羅 (実物)
- 三宅島からの日進の書状 (実物)
- 三枝八十郎宛日尚の書状 (実物)
- 三宅島経由の御鈴及び灯明皿 (実物)
- 日進墓及び頌徳碑 (写真パネル) など40点余

